

パートナーシップおかや

NO. 2

岡谷市男女共同参画推進市民の会

市民会議立ち上げの頃の思い

岡谷市男女共同参画推進市民の会 小口光子

昭和59年、岡谷市に全国5番目の「長野県婦人総合センター」現在の「あいとぴあ」がオープンしてからの我が市の女性問題への取り組みは大変盛んで、それが男女共同参画の推進に引き継がれ目覚ましい発展をしたと思います。

平成8年に設置された「地域女性コミュニケーター」の第2期目にあたる平成12年には「第2次岡谷市女性プラン」が策定されました。前年には「男女共同参画社会基本法」が公布されましたが、岡谷市にはまだ男女共同参画を推進する団体がなかったので、私たちコミュニケーター5名では難しいので当時の女性市会議員（県内最多の5名）の協力を得て行政に働きかけ、平成14年に「岡谷市男女共同参画推進市民会議」を発足させることができました。

平成16年に「岡谷市男女共同参画条例」を策定する時には、県内の条例などを参考にし、市民の手で白紙の状態から策定に関わりました。

初めは、市内の女性区会議員と区長さんに「区行政に参加して」のお話をお聞きし、女性を増やすには「女性が勇気を出して一歩踏み出しましょう」と元気な女性達から当時としてはうれしいご意見が出されました。

手探り状態ではありましたが「全国男女共同参画週間」には、カルチャーセンターでのパネル展示や会場に見えた市民にアンケートをお願いして啓発するなど現在に繋がる活動も始めました。

今、名称は「男女共同参画推進市民の会」と替わりましたが市民会議立ち上げ当時を思うとき、今年3月に策定された「認め合いともに輝く男女共同参画おかやプランⅣ」に沿って、男女共同参画社会の実現をめざして、これからの4年間を一人一人が自分の居る場所で力を出し合って参画していきたいと思います。

男女共同参画のポスターを募集して

子どものうちから男女共同参画意識を育てたいという願いで「わたしらしく・あなたらしく」の冊子をつくり各小学校の高学年で扱っていただいています。今年も夏休み中に「男女共同参画に関するポスター」を描いていただくようお願いしました。

市内の学校から90余点の応募があり、子どもらしい感覚で楽しい作品が集まりました。

9月21日に学校関係者の協力も得て審査し、後日表彰式を行い「市民のつどい」で展示するほか皆さんに紹介いたします。子どもの意識の高まりは何よりうれしいことです。



ポスター審査の様子

戦前 家族は一つの最小社会
生産と消費の場

- ・ 家族のリーダー・代表は家長
- ・ 地域社会とのつながりは男性である家長
近隣との付き合い、やりくりは女性の役
- ・ 男性も女性もともに家業に従事し、家庭
経済を維持（出稼ぎも）
- ・ 家の後継ぎ以外は分家や婿入り

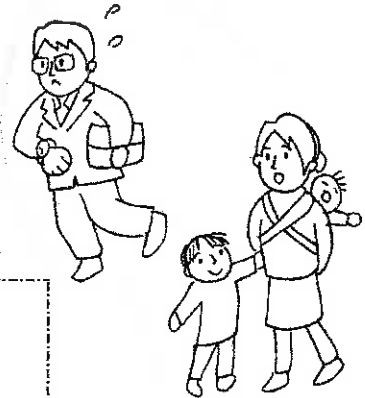


戦中 家族と雖も国防第一

- ・ 成人男性は戦争や軍需工場に総動員
- ・ 女性や青少年も勤労奉仕
- ・ 家庭では女性や高齢者が銃後の守り
- ・ 家庭から抛出、国からの配給で生活
- ・ 家族・親類縁者・地域の絆で生きる

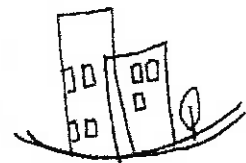
戦後復興期 国民総生産時代

- ・ 学校を卒業後、男性も女性も家業を継ぐか就職
- ・ 集団就職等により地方から都会に人口移動
- ・ サラリーマン化・家族分散が進み核家族の増加
- ・ 若い女性の働くのは結婚するまで（腰かけ）
- ・ 継続して働く職業婦人と専業主婦の別が生まれる



高度経済成長期 金銭感覚の変化

- ・ 一層の増産を目ざし男性は厳しい残業
- ・ 家を守るために女性の寿退社、出産退社の進め
- ・ 「男は仕事、女は家庭」の風潮高まる
- ・ 仕事から離れ家事・育児に追われる母親のストレス増加（幼児虐待現象の発生）
- ・ 仕事に追われ、子どもと関われない父親の増加
（コミュニケーション不足で不登校児出現の一因）
- ・ 家庭用電気機器の導入で家事の簡素化進む



今、そしてこれから
少子・高齢社会の課題克服に向けて

小さな家族から
社会の枠組みの中で

男女で共に築く
心豊かな社会の構築を！

- ・ 単身家庭・ひとり親家庭・高齢者家庭の増加
- ・ 孤独死、介護疲れ、失業、生活困難家庭の増加
- ・ 社会保障費の増大、財源不足
- ・ 家族のための共稼ぎから社会のための共働きに
- ・ みんなで支え合い、お互い様の循環型社会を

真剣に考え学び合いました

おかや男女共同参画フォーラム

「地域で活かせるあなたの力」～だれもが生き生きと活動的な人生を送るために

今年4月に「男女共同参画おかやプランⅣ」が策定され、ダイジェスト版が各家庭に配布されました。平成14年までの方向が示されています。

これを多くの皆さんに知っていただくために、去る8月24日の午後7時より、市及び男女共同参画推進市民の会の共催でフォーラムを開きました。各種団体や関係者に加え一般市民も合わせて140名の参加者があり盛会でした。(伊藤 綾子)

◇「認め合い ともに輝く」「男女共同参画おかやプランⅣ」についての概要説明
市企画課男女共同参画担当の伊藤主幹さんより、今年4月に策定された5年間のプランの三つの重点目標によせて岡谷市のめざす男女共同参画社会の実現について話された。プランⅣでは、計画の進捗状況を把握するために数値目標を示してあります。



◇事例発表 「地域でいきいき参画社会」西堀区

高齢者生きがいサービスの援助員さんが、プロジェクターを使って、地域の高校生や保育園児も一緒に世代間交流をしたり、区民の皆さんがボランティアに、また生きがいを求めて仲間づくりに参加している様子が紹介されました。

援助員さんの熱心さと、参加者のすてきな笑顔が印象的でした。

◇グループごとの意見交換 「誰もがいきいきと活動的な人生を送るために」

12人前後のグループに分かれて「退職後地域で活動するにはどうしたらよいか」「仕事中心だったので退職後何をしたらよいかわからない」などの声があり、若い頃から仕事と合わせて地域で活動し、地域に馴染むことの大切さも叫ばれました。

◇グループ発表とまとめ

地域活動に参加することで地域がわかり仲間ができる。御柱は地域住民との交流の場。家族のかたちが変わり地域の力が必要。これからは男女一緒に、夫婦共々に誘い合って地域活動に参加することで充実した生活を送りたいとの意見が多くだされました。これからの共同参画の地域づくりが期待されます。



ものおじせず第1歩を!

上浜区 上島 忠夫

「おかや男女共同参画フォーラム」に参加させていただき、まず西堀地区のさまざまな活動には敬服いたしました。今後も事故等ないよう益々のご活躍を祈念いたします。

さて、報告の中にも、また話題にもなりましたが、いろいろな行事に男性の参加が少ないと言われますが、私たちの年代は地域・家庭のことより会社にあってが第一と考え、精一杯働いてきた関係で地域まかせ、母ちゃんまかせが問題かと思えます。これからは積極的に第一歩を踏み出すことが必要だと痛感しました。

(参加者の声)

みんなが真剣に討議

岡谷区 林 フク子

さまざまな団体で活躍している約140人の方が集まったの充実した時間でした。テーマは「地域で活かせるあなたの力」

ある地区で新人をお誘いする時は、とにかく2～3人で1軒ずつ廻って直接お声をかけて入会してもらおうとのこと。改めて役員の方々の熱心さに感服いたしました。心を込めたお誘いがあると人の心は動くものですね。

「認め合い、共に輝く社会」に向けての歩み可以实现できるよう、少しでも応援できたらと思いました。



参加報告



講演を聴いて 宮坂安寿恵

東大の瀬地山角先生の「爆笑子育て寄席」と題する講演、とても楽しくて中身の濃い講演でした。キャリアウーマンの奥様と子育てと大学院教授職の両立をこなしている先生。一般の家庭と逆転しているように思いました。だからこそ、私たちと同じ悩みを感じていて、男も女も同じなのだと感じさせてくれました。ホットな講演でした。

◎ “あいとびあ” 男女共同参画フォーラム

7月10日(土)に開催されたフォーラムには、オープニングで市民の会の有志が朗読劇「仕事と家庭の両立」を上演しました。

朗読劇に参加して 大家 由紀

結婚後の日常生活の中での家事や育児の分担、仕事に出るにあたり家族の協力の大切さなどありそうな話題を演じました。いろいろな問題も出てきましたが、常に夫婦の協力で家事育児を楽しく行える社会になってほしいと思いました。

◎ 男女共同参画 地域フォーラム in たてしな 9月4日(土)

猛暑の駐車場で大勢の女性が整理案内する姿。会場で展示・販売、催事場には多くの団体が参加。それぞれの持つカラーで活躍する姿に触れ、立科町の男女共同参画長期プラン「みんなが輝くまちづくり」の実践を垣間見た思いでした。(山崎一子)

◇オープニングにアトラクション

立科高校のJAZZクラブの演奏にはOBも参加。違和感なく、若者らしい迫りもあり会場を盛り上げました。

◇二つの事例発表に学ぶ

「母を介護した男性の思い」。介護を受ける側、する側、関わる近親者、いろいろな立場の人に対してお互いを認め、理解し、協力して介護と向き合う豊かな心が大切であることを体験から得た思いとして語られ共感を呼びました。

「創作紙芝居で地域に貢献」。お話バスケットの皆さんが夢を追い、努力の成果を発表しました。旺盛な研究心、絆の強さに刺激されました。

◇記念講演 石川牧子さん

「自分らしく生きる1秒の重さ」。自分の人生に目標を持ち、努力することの大切さを語りながら、男女共同参画の姿を随所で確認されたことが印象的でした。さらに、五音で表す言葉「ありがとう」「こんにちは」「すみません」「おいしいね」など、どれも1秒で言える素晴らしい日本語。僅か1秒で感情を伝え、交流が生まれ、社会へと広がる。まさに男女共同参画社会づくりの基本ではないだろうか・・・と話されました。

確かに1秒の重さだと共感しました。

◇最後に参加者全員により「男女共同参画宣言」が承認されました。



高校生のジャズ演奏

お知らせ

- ◆12月5日(日)「おみや市民のつどい」がカノラホールで開催されます。
- ◆11月13日(土)諏訪市で長野県男女共同参画フェスティバルが開催されます。
- ◆12月11日(土)“あいとびあ”で男女共同参画推進セミナーが内閣府と国際女性教育振興会の共催で開催されます。